

(別紙 8)

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年12月2日

【評価実施概要】

事業所番号	0172900250		
法人名	有限会社 環境設備		
事業所名	グループホーム プランタン		
所在地	旭川市東旭川町上兵村 4 6 4 - 1 (電 話) 0166-36-3937		
評価機関名	(有)ふるさとネットサービス		
所在地	札幌市中央区北1条西5丁目 3 北1条ビル 3 階		
訪問調査日	平成19年12月1日	評価確定日	平成20年3月3日

【情報提供票より】(平成19年11月17日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 15年 9月 1日		
ユニット数	3 ユニット	利用定員数計	27 人
職員数	28 人	常勤14人, 非常勤14人, 常勤換算14.7人	

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	3 階建ての ～ 全 階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	28,000 円	その他の経費(月額)	16,000 円
敷 金	有 (円) 無	(水道・光熱費・共益費)	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,200 円		

(4) 利用者の概要(12月1日現在)

利用者人数	26 名	男性 11 名	女性 15 名
要介護 1	10 名	要介護 2	8 名
要介護 3	4 名	要介護 4	4 名
要介護 5	0 名	要支援 2	0 名
年齢	平均 84.72 歳	最低 68 歳	最高 95 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	旭川ペインクリニック、東郷整形外科医院、林歯科医院、旭川ユニバース歯科クリニック
---------	--

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

自然環境に恵まれた広い敷地にデイサービス、小規模多機能型居宅介護が併設され、通ってきている利用者との交流も行なわれています。近郊からの利用者が多く、昔ながらの見慣れた風景として安心して暮らしています。利用者の希望を聞きながら「施術サービス」や「歌会」に参加するなど健康で元気に意欲をもって生活できる支援に努めています。日々の係わりの中で「できそうなこと」を少しずつ提供し、利用者が一人で行えることには職員は見守りながら過剰な介助は避けるなど、利用者の自立を尊重する対応が行なわれています。管理者と職員の関係作りの良さが感じられ、人間関係も良好で、親しみやすく温かい雰囲気が保たれています。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の外部評価の課題である緊急時対応については、ほぼ全員が救急救命の実践的研修に参加されています。建物の外壁などについても、法人と連携を図りながら前向きな姿勢で取り組みに着手されています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 管理者や職員は、自己評価や外部評価を実施する意義は理解されていますが、今回の自己評価は職員全員では行なわれていません。自己評価の改善課題を明確にし、具体的な改善に向けて全職員で検討を重ね、より良いサービス提供への取り組みを期待します。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 平成19年6月に1回目を開催し、利用者家族、管理者、グループホーム職員、夜勤職員、協力医院院長、協力医院事務長の参加で行なわれています。運営推進会議の趣旨説明及びホームのあり方、運営状況、年間行事などが報告され、意見交換がされています。ホームの存在や役割を知って頂くよい機会となるため、地域関係者への積極的な呼び掛けを行ない、相互交流が図られることを期待します。
重点項目③	日頃から家族との交流を図り、気軽に意見、要望を話せるような雰囲気作りに努めています。また、家族から意見や要望がでた際には、迅速に話し合いが持たれケアに反映させています。ホーム内での暮らしぶりやエピソード、行事予定など家族が知りたい点を考慮しながら、「お便り」など定期的な情報提供が行なわれることを期待します。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 近隣の保育園や小学校の子供たちが踊りを踊ってくれるなど理解を得ながら、温かい支援と協力が築かれています。町内会や地域の行事、またホームでの行事などの交流を通じて利用者の暮らしがより豊かなものとなるよう期待します。また、災害時は、地域住民の参加、協力を得ることが不可欠であるため、今後、交流が盛んになるよう積極的な働き掛けを期待します。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ホーム内にケア理念が掲示され、「なんでもあり」の理念は、全職員に浸透し理念を実践するため日夜努力されているが、地域密着型サービスとしての理念の見直しや職員間での話し合いが行なわれていない。	○	地域密着型サービスとしての意義を全職員で確認し、地域に根ざしていくためのホーム独自の理念を作りあげることが期待する。また、利用者の視点に立った「読んで解かる」明示方法を工夫することが望まれる。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者はホームの理念を理解し、ミーティングなどを通して職員と共有しながら実践に取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入し、地域の諸行事や祭事に参加しているが、近隣住民との密なる交流が図られるまでには至っていない。	○	利用者が地域の一員として暮らし続けるためには、地域の理解と協力は不可欠であるため、ホームの存在や役割について地域や町内会へわかりやすく伝える具体的な取り組みを行ない、相互交流が図られることを期待する。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者や職員は、自己評価や外部評価を実施する意義は理解しているが、評価を全職員で取り組まれておらず、また、見出された課題の具体的な話し合いも行なわれていない。前年度評価は受審されていない。	○	全職員で自己評価に取り組むことで、意識を合わせ、ケアの振り返りや見直しなどが可能となるため、自己評価及び外部評価のねらいや活用方法を十分に理解し、評価で見出された課題について、改善に向けて具体案の検討や実践につなげる取り組みを期待する。

旭川市 グループホーム プランタン

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、平成19年6月に第1回目の開催があり、ホームの概要や運営状況、年間行事などを報告し、意見交換がされている。しかし、その後の開催はなく、今月中の開催を予定している。	○	地域関係者や利用者家族への積極的な呼び掛けを行ない、今回のサービス評価の結果なども議題に含め参加者からの意見・要望を聞き、サービス向上に活かされるよう期待する。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	ホームとしての係わりや疑問点についての問い合わせは行なっているが、行政との積極的な連携にはまだ至っていない。	○	運営や現場の実情などを積極的に伝えたり、市から情報を提供してもらうなど、市の担当者と意見交換を頻繁に行ない、協力関係を築かれることを期待する。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族が訪問した際に日々の暮らしぶりや心身の状況を伝え、訪問できない家族には電話や便りで伝えている。金銭出納簿は毎月家族の訪問時に明細を明らかにし、家族の了解を得ている。しかし、定期的な「ホーム便り」は送付されていない。	○	家族との信頼や協力関係を築くためには、きめ細かいやりとりは不可欠であるため、ホーム内での暮らしぶりやエピソード、ホームの行事予定など家族が知りたい点を考慮しながら、積極的な情報提供を期待する。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日頃から家族との交流を図り、気軽に意見・要望を話せるような雰囲気作りに努めている。また、意見や要望がでた際には、迅速に話し合いが持たれケアに反映させている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員同士の十分な引き継ぎ、利用者へ説明、新任者の紹介を利用者一人ひとりに合わせて説明方法を工夫するなど、利用者へのダメージを最小限に防ぐ配慮がされている。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の経験、力量に応じて外部研修に参加し、研修終了後は報告会を開催し情報の共有化に努めているが、ホームとして計画的に職員を研修に参加させる体制はまだ十分とはいえない。	○	全職員に外部研修の受講機会が計画的に得られるような検討を行ない、ホーム全体のスキルアップにつなげていくように期待する。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者は、管理者会議や関連会議に積極的に参加している。また、職員は同一法人の事業所との交流や、各種研修会の参加により、ほかの事業所職員と情報交換やホーム見学などを行ないサービスの質の向上に努めている。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前に利用者や家族等と十分に面談を行ない見学した後に入居となっている。信頼関係を築きながら、利用者や家族が安心して納得できるよう適切なサービス開始の調整を行っている。		
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者一人ひとりの経験や得意なことを見極め、活躍できる場面作りの支援が行なわれている。また、利用者から昔の話や生活の知恵を教わったり、料理の味付けや包丁を研いで頂くなどともに支え合う関係作りが築かれている。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	アセスメントシートを活用し、家族から生活歴や環境、家族構成などの情報を収集するとともに、利用者一人ひとりのニーズの把握に努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	全職員が毎日の記録をもとにカンファレンスを行ない状況把握に係わるなかで、ニーズの把握に努め、日常のケアに活かせる取り組みが行なわれている。家族の要望を取り入れ、職員が意見をだし合いながら施設サービス計画が作成されている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	施設サービス計画の期間に応じた見直しを行なうとともに、利用者の状態に変化が生じた場合、本人、家族と話し合い、掛り付け医とも相談しながら現状に即した見直しを行なっている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族の希望に応じて、掛り付け医への通院介助や外出時の付き添いなど、柔軟な支援が実践されている。また、医療連携加算の指定を受け、24時間安心できる体制を整備している。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族が希望する掛り付け医での受診支援や協力医療機関による往診などの受診支援が行なわれている。看護師が常勤しており、利用者は健康面についても気軽に相談することができる。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等並びにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	契約書に、重度化した場合や終末期のあり方について、明確な取り決めは明示されておらず、急変時に対応できるような話し合いは行なわれていない。	○	利用者の重度化や終末期に向けた対応指針を整備するにあたり、家族や医療機関とも相談しながらホームとしてどう最大の支援を行なうか、具体的方策について早い時期の検討が望まれる。
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は、利用者の誇りや羞恥心に配慮しながら日々のケアを行なっている。しかし、面会簿の記入や広報の掲載写真の同意が得られていない。	○	広報の掲載写真使用目的の説明や、公開の同意が得られるように、本人や家族に了解を求める事が望まれる。また、ほかの人に名前や住所を見られないように、面会名簿の記入を工夫されることを期待する。
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ホームとしての1日の基本的な流れや生活リズムへの配慮がされており、利用者の生活歴、体調やペースを大切にしたその人らしい生活を送れるよう支援している。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の際には職員が同席して同じ食事を取りながら楽しく食事ができるよう支援されている。食事の準備や後片付けなど、利用者の得意なこと、関心のあることを把握し、楽しみながら支援されている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は週2回と決まっているが、本人の希望や状況に合わせた対応がされている。広い浴室で気の合った利用者同士でゆっくり入浴している。各居室にシャワー室が設けられているが使用されていない。	○	ホームが決めた曜日や時間帯に合わせるのではなく、利用者一人ひとりの生活習慣やその時々希望を大切にした入浴支援が望まれる。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者のできることや趣味を活かせるように支援されており、料理の手伝いや洗濯物たたみなど、生活歴を活かした役割や習慣、歌会やゲームなどの楽しみごとの実施によって、日常の暮らしに張り合いや喜びを見い出せるように努めている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩や買物、通院介助、外出行事など利用者一人ひとりの希望を聞きながら外出を楽しめる支援がされている。また、ホームに隣接された畑には水やりや収穫時に一緒にでかけ、成長の楽しみを持てるように支援されている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	全ての職員が鍵を掛けない安全な暮らしについて理解しており、日中は施錠していない。職員は徘徊傾向のある利用者を把握しており、外出する様子の時には、さりげない声かけや見守りが行なわれている。		

旭川市 グループホーム プランタン

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に2回消防署と連携を取り避難訓練を実施している。また、前回の課題である緊急時対応については救急救命の実践的研修にほぼ全ての職員が参加している。しかし、町内会や地域住民への働き掛けは行なわれておらず、協力体制を築くまでには至っていない。	○	利用者の安全をより確実なものとするためにも、地域住民の参加や協力が得られた避難訓練の実施や災害時に備えた物品の準備をすることが望まれる。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	系列の食事部会により献立が立てられ、摂取カロリーや栄養バランスを配慮しながら検討されている。これをさらに各ユニットで独自の調整を行ない利用者の食事量、水分摂取量を把握している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングには季節を感じさせる装飾や高齢者展で受賞した作品、利用者の写真などが飾られ居心地良く過ごせる空間となっている。通路は広々としており明るく開放感があり、椅子が随所に置かれ、利用者は思い思いの場所で寛いでいる。気になる臭いもなく、音量、採光なども適宜調節されている。	○	通路に手すりが設置されているが、利用者が使いやすい高さに設置することが望まれる。建物の外壁は威圧感を感じ、またホーム前の玄関表示がなく分かりづらいため誘導表示を工夫し、入りやすい雰囲気を演出されることを期待する。建物の外壁は来年塗り替えられる予定である。
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は約23畳と広く、各室にトイレとシャワールームが設置されている。利用者本人が使い慣れた馴染みの家具や装飾品、利用者によっては仏壇や植物を持ち込み、家庭の延長的雰囲気で安心して暮らせる場所となっている。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。